

平成24年度文部科学省委託事業「青少年体験活動総合プラン」  
教育事業「ボランティア・自然体験活動補助指導者養成セミナー」  
**「やる気！元気！ボランティア」**

## 1 趣 旨

- ・ボランティア活動に必要な知識や技能の向上を図り、ボランティアとしての資質を高め、広く社会でボランティア活動に取り組める青年を育成する。
- ・青少年の自然体験活動を支援する補助指導者（18歳以上）を養成する。

## 2 ねらい

- ・ボランティアや自然体験活動補助指導者に必要な知識や技能の向上を図る。
- ・ボランティアや自然体験活動補助指導者としての資質や態度を養う。
- ・参加者同士で相互理解を深め、コミュニケーション能力を高める。

## 3 日 程

- (1) 期 日 平成24年 6月22日（金）～ 6月24日（日）【2泊3日】  
(2) 参加者 19名（大学生18名，社会人1名） ※募集30名  
(3) 研修内容及び講師

6月22日 （金）	午後	○受付 18:30・開講式 19:00 ○講義・演習「ボランティアってなあ～に？」 講師：石川県社会福祉協議会ボランティアセンター 北 美幸 ○アイスブレイク
6月23日 （土）	午前	○実習「フレッシュタイム」 指導：交流の家職員 ○講義「教育課程と体験活動の関連性」 講師：富山大学教授 松本 謙一 ○実習「体験活動の技術：野外炊飯」 指導：交流の家職員
	午後	○講義「学校教育における体験活動の意義」 講師：福井大学教授 宗倉 啓 ○講義「青少年教育施設の現状と運営」 講師：交流の家 次長 ○交流会
6月24日 （日）	午前	○実習「フレッシュタイム」 指導：交流の家職員 ○実習「学ぼう！いのちの救い方：救命救急法」 講師：羽咋消防署
	午後	○実習「自然体験活動のプログラム作成」 指導：交流の家職員 ○「広がれ！のとボラのWA！：平成24年度事業紹介・ボランティア登録」 指導：交流の家職員 ○閉講式 16:00

## 4 成果と課題

### (1) 事前・事後アンケートによる事業評価

事業評価を目的とし、参加者19名を対象に調査を実施した。調査項目は、事業内容に対応した項目を含めた35項目を使用した。本事業のねらいである、「ボランティアや自然体験活動指導者に必要な知識や技能」「ボランティアや自然体験活動指導者としての資質や態度」「コミュニケーション能力」に分けて平均値を算出し、事前事後の変容を図1に示した。

その結果、すべてのグループにおいて平均値が有意に向上していることが認められた。したがって、前述の3つの観点については、本事業が参加者の変容に影響を及ぼしたと考えられる。

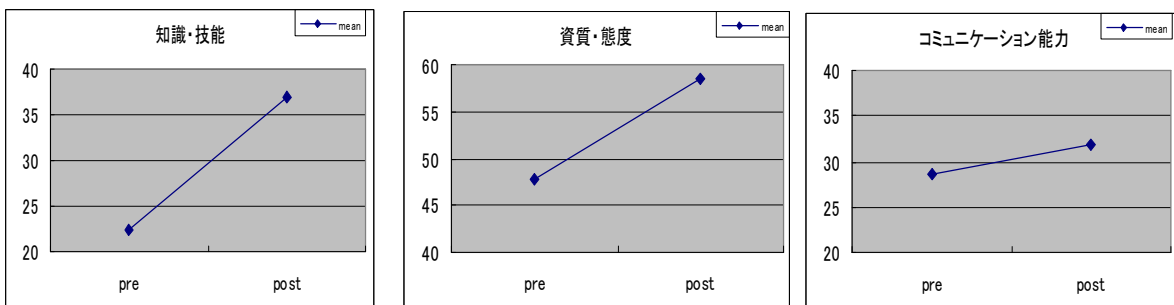


図1 事前事後アンケートによる事業評価

### (2) 成果と課題

#### 《成果》

- ・ 事前事後アンケートによる事業評価（図1）からも明らかなように、本事業のねらいである、「ボランティアや自然体験活動指導者に必要な知識や技能の向上を図る」、「ボランティアや自然体験活動指導者としての資質や態度を養う」、「コミュニケーション能力を高める」について向上したことが分かり、ねらいを概ね達成できたといえる。
- ・ 体験活動プログラムを作成する中で、今後の教育事業やリレーションシップ事業で活用できるようなアイデアがたくさん出された。修了者が活躍する場のコーディネートを行うことができ、有効な取り組みであった。

#### 《課題》

- ・ 今回の本事業参加者の多くが秋・冬のリレーションシップ事業に参加してみたいと意思表示しているので、実際に参加してくれるように事前に案内する。本事業で高まったボランティアへの意欲を継続するための広報活動を工夫していかねばならない。



講義・演習「ボランティアってなあ～に？」



実習『自然体験活動の技術：野外炊飯』